



令和2年 12月発行  
 中濃県事務所 振興防災課 振興防災係  
 家庭教育担当:後藤  
 〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2  
 TEL: 0575-33-4011 (内線210)  
 FAX: 0575-35-1492  
 E-mail : goto-yuka@pref.gifu.lg.jp

通信「かてきよー」は中濃県事務所HPからご覧いただくことができます。QRコードはこちら→  
 検索される場合は以下のキーワードでお進みください。

中濃県事務所 家庭教育 → 家庭教育情報 → 中濃地区の家庭教育学級 → 家庭教育学級長応援通信「かてきよー」



## 在宅取組型特集3 ~冬休みに在宅取組を 家族のコミュニケーションを深める取組紹介~

### 美濃市立大矢田小学校

全校家庭対象

#### 「にこにこ生活キャンペーン」

例年、大矢田小学校では母親委員会の取組で「子育てサロン」を開催し、保護者同士の交流を深めながら親の学びを深める活動をしてきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から集合型の会は中止とし、家庭でできる新たな在宅取組型の活動を実施しました。コロナ禍による異例の事態に、不安定になりがちな子供たちの心や生活を第1に考えた、取組のネーミングが印象的です。

〈取組期間〉 令和2年8月1日(土)～8月16日(日)のうち都合のよい5日間  
 〈主催者の願い〉 家族で生活を見直すことで、家族の会話やふれあいを深め、よりよい生活づくり、家族関係づくりにつなげてほしい。

#### 通信から一部抜粋

《例》	がんばり宣言	おうえん宣言
9時に寝る	入眠しやすい環境を整えます/一緒に寝ます	
テレビ、ゲームは1日2時間までにします	時間厳守できるよう見守り声掛けします/一緒に読書をして楽しみます	
(体力作りで)縄跳びを20回する	頑張り認め、声掛けします/一緒にやります	
家族の一員としてお手伝いをします	子供に出来る仕事を提案します/見届けます	
あったか言葉を使います	感じた気持ちを伝えます/一緒に取組ます	

今までにない初めての取組だったことから、事前の通信で、子供たちの「がんばり宣言」保護者の「おうえん宣言」の例を具体的に示されています。各家庭で、「どんなことに取組もうか?」を決める際に参考にできます。

#### 取組カード

#### にこにこ生活キャンペーン

年 名前

毎日の生活をよりよくするために、家族で自分の生活をふりかえり、「ここをこうおそう」「こんなふうがんばろう」と「めあて」をきめましょう。お家の人ち、おうえんせんげんを書き、見守ります。5日輪ががんばっていきましょう。

《にこにこ生活のめあて》

《ぼくわたしのがんばりせんげん》

《おうちのかたのおうえんせんげん》

《取組み記録》(できたら○、できなかつたら△をつけよう。おうちの人は、見届けしたらシール・スタンプなどサインしよう)

取組み日	自分がかくにん	おうちのかたがかくにん

《ぼくわたしのふりかえり》

《おうちの人から》お子様へのメッセージ、感想など

#### 感想より (一部抜粋)

【ぼく、わたしのふりかえり】

- ・玄関もきれいになったし、金魚も楽しく泳いでいるし、ミニトマトもぐんぐん育っています。(2年生)
- ・毎日の早寝早起きはちょっと大変だったけどがんばった。(3年生)

#### 【おうちの人から】

- ・楽しい夏休みになったね。たくさんのお手伝いありがとう。『ありがとう』の言葉もありがとう。(4年保護者)

事後の通信・資料の紹介

母親学級通信

NO.1 令和2年9月1日  
大矢田小学校 PTA 母親委員会

連日暑い日が続いております。親子共々、体調管理には十分気を付けていきたいところです。さて、夏休み中には「にこにこ生活キャンペーン」に多くの方が参加してくださいました。ご多用のところ、見守り、励まし、一緒に取組んでいただき、ありがとうございます。取組として多かったのは、「早寝早起き」、「お手伝い」、「ゲーム・テレビ時間を決めて守る」、「運動」でした。他にも、「あつたか言葉を使う」や「みんなとなかよくする」、「ありがとうやあいさつをする」など皆が気持ちよく過ごせるよう頑張った子もいました。「食生活」や、「手洗い」、「テレビの前で見ない」など健康管理に努めた子もいて、皆さんが個々に様々なあてを立て、頑張って取組んでいただきました。

短い夏休みでしたが、親子で挑戦し上進した子、お手伝いを楽しみながら頑張った子、どの子も個々のあてに向けて頑張れたことが自信となり、今後の生活に繋がるといふなあ、と思っています。

一部、感想を紹介させていただきます。

失敗してもくじけずに何度も挑戦してやるのができたのでよかったです。(5年女子)

おばあちゃんが居るを引いたとき、たくさんあつたか言葉ももらいました。うれしかったです。(1年保護者)

5分嫌んで1分休憩をしても、午前と午後でやりました。汗をいっぱいかけました。これからも続けたいです。(2年男子)

楽しい夏休みになったね。たくさんのお手伝いありがとう。「ありがとう」の言葉もありがたう。(4年保護者)

ゲーム時間を守り、ゲームしないときには本を読んだり、他のことで時間を使うことができました。今後やりすぎないように気をつけていこう。(4年保護者)

毎日の早寝早起きはあつたたいへんだったけどがんばった。(3年女子)

言葉もきれいになったし、金魚も楽しく泳いでいるし、ミニトマトも元気にぐんぐん育っています。(2年男子)

他にもたくさん感想をいただきました。ご協力、ありがとうございます。

活動のお礼とともに、取組の感想を通信にして発行されました。お手伝いについての宣言が多かったことから、通信の裏には「お手伝い」についての資料を付け加えて印刷されたそうです。

取組の多かったお手伝いについて「子供がお手伝いをしたくなる・続けられる秘訣」があるようなので、紹介します。

《お手伝い効果》

そもそも、子どもは、お手伝いが大好き。幼児期から手伝いを覚えて、小学校低学年では、家族の一員として家事分担の役割を理解し始めるよ。お手伝いによって、親子の会話を深めてたっぷり愛することで、「できた喜び」や「やらなくてはいけない責任感」が芽生えるから、子どもは自分に自信をもてる。お手伝いをする中で、自分なりのやり方を考えて工夫し、行動に移すことができるようになるから、子どもはお手伝いで大きく成長することができるんだよ。

子どもがお手伝いをしたくなる・続けられる秘訣を伝えます！

その1 やりたい手伝いは尊重する。  
その2 簡単にできることから始めて、任せる。  
(簡単にできる仕事から一緒に始めると、子どもが自分から進んでお手伝いをしたくなり、安心して任せることができます。)

その3 失敗しても叱らず、楽しく教える。  
(少々のは目はつむり、お手伝いしている気持ちを尊重しましょう。子どもの自尊心を傷つけると自信をなくし、自分からできなくなってしまうよ。)

その4 やり終えたら「ありがとう」「助かった」と家族の感謝やみんな役に立っているという声かけをたっぷりかける。  
(家族全員が、「ありがとう」「助かった」という言葉で感謝の気持ちを伝えると、家族の役に立っているという喜びや成就感を味わうことができ、お手伝いを継続

【学びポイント】

- ・学校と役員さんが相談し、親子の会話やコミュニケーションを育む新しい在宅取組を考え実施されたこと。
- ・事後の通信や資料を取組の熱が冷めないうちに配布し、取組が今後の家庭での生活につながる工夫をされたこと。

〈家庭教育9つの学習項目〉

- 今回の取組は下線の3項目
- 基本的な生活習慣・自立心・自制心・  
善悪の判断・挨拶及び礼儀・思いやり・  
命の大切さ・家族の大切さ・  
社会のルール
- 【岐阜県家庭教育支援条例より】

参考になる資料が欲しい！

そんな時には、家庭教育プログラムをご活用ください

★身近な出来事をもとに、参加者同士が交流することができるプログラムです。20テーマが掲載されています。



ワークシート

進行案  
誰でも会を進めることができます。

取組カード

資料  
テーマに関わる資料が付いています。

1つのプログラムには、ワークシート・進行案・取組カード(ない場合もあり)・資料がセットになっています。





